

1. 市川市環境基本計画等について

意見等の内容	対応方針等
◆「市川らしさ」 ○「市川らしさ」を分かりやすく前面に出して、市なりの環境基本計画になると良い。(稲葉委員) ○「市川らしい環境施策」を示して欲しいという、市民会議における意見に賛成である。【環境基本計画】(石原委員) ○SDGsを打出すことで「市川らしさ」とする考え方もあると思われる。(後藤会長) ○環境を大きな目で捉え、SDGsについての啓発や環境教育を実施し、それに関連する指標を設定するというのも、市川らしさにつながっていくのではないかと。(石原委員)	・「市川らしさ」についての検討を継続する。 ・計画のキャッチコピー(例「市川〇〇タウン」)を検討する。
◆計画の体系(案)に関するもの ○「生物多様性」という言葉が一般的でないこと、「快適な生活環境の整備」に「安心」という言葉を加えることについて、市民会議における意見に賛成である。【環境基本計画】(石原委員) ○SDGsの考えについて「全体を統合して横串で刺す」ことは、市民会議の意見に賛成である。【環境基本計画】(石原委員) ○施策を全てSDGsのゴールに無理にこじつける必要はない。(石原委員) ○環境基本計画等で触れるSDGsのゴールは関連性の高いものに絞る方が市民も分かり易い。(大野委員) ○市民に対してインパクトのある重点的な施策などがあれば良いと思う。【温暖化対策実行計画】(西原委員) ○具体的な取り組みがベネフィットにつながるということだが、数値化して評価が可能なのを設定したほうが良いと思われる。【温暖化対策実行計画】(小山田委員)	・「生物多様性」、「快適な生活環境の整備」の部分の修正を行った。 ・市民会議からの意見も踏まえ、「協働」の部分が横串となることが理解できるよう、体系図の修正を行った。 ・次期環境基本計画及び次期実行計画の体系(案)の修正を行った。 ・次期実行計画における取り組みについても、重点的なものを示すこととする。 ・改めて検討を行った結果、取組項目の推進が主目的であることから、当初の案を変更し、体系図に含めないこととする。(計画本文に記載する予定)
◆目標・指標に関するもの ○PDCAサイクルは重要である。そのため、計画で設定している「目標値・指標値」については、定量的な数値で示すべきである。(後藤会長) ○色々な目標・指標があるが、達成状況をレーダーチャートに示したらどうか。(後藤会長)	・数値化できるものについては、なるべく数値化する方針で検討する。 ・次期計画の進捗状況の周知の方法として検討したい。

2. その他

意見等の内容	対応方針等
◆市民啓発・環境教育に関するもの ○指標の実績数値の推移や目標と、そのために市民に対して何をどのように訴えていくのかという啓蒙・啓発を分けて検討したほうが良いと思われる。(大野委員) ○市として必要なのは、市民啓発や環境教育を通じて、SDGsの考えを市民に理解してもらうようにすることである。(石原委員) ○SDGsの取り組みで、例えば、市川市が特色のある教育をやっているとなれば、一つの目玉になるのではないかと。(後藤会長)	・具体的な啓発等において、意識するよう努める。 ・次期計画の取り組みの方針等にSDGsを意識した環境学習を記載した。 ・次期計画の本文中への記載についても検討する。